

新型インフル 国内初感染



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2009

インターネット
号外

購読の
お問い合わせは

東奥日報社読者局
017-739-1111
FAX 017-739-1111

24時間受付

大阪の高校生ら3人 カナダ留学から成田着

厚生労働省は九日、成田空港で国内初の新型インフルエンザ感染者が確認されたと発表した。大阪府在住の男子高校生二人と四十代の男性教諭の計三人で、四月末からカナダのオークビルに短期留学で滞在し、八日に米デトロイトから成田に到着した。三人は到着後の機内

検疫で感染の疑いが判明、感染症指定医療機関の成田赤十字病院（千葉県成田市）に搬送、隔離された。国立感染症研究所の検査の結果、新型ウィルスに陽性反応を示し、感染が確定した。入国前の検疫の段階ながら、日本で感染者が確認されたのは初めて。厚生労働省は「水際で発

見、隔離したため入国扱いにならず、国内での発生とは見なさない」としているが、新型インフルエンザが日本でも広がる事態が迫っていることが浮き彫りになった形だ。舛添要一厚労相は九日午前八時半から、厚労省で記者会見。厚労省によると、男子高校生ら三人は、八日午後四時半ごろ、デトロイト発のノースウエスト便で成田空港に到着。発熱やせきなどの症状があるという。簡易検査でA型インフルエンザの陽性反応が出たため、空港検疫所で詳細（PCR）検査を、感染研で確定検査をそれぞれ行った。

八日時点で、男性教諭の体温は二八・六度。高校生はそれぞれ二六・六度と二七・一度だった。短期留学には、感染が確認された高校生や教諭を含め計三十六人が参加していた。同機には乗客乗員計四百十人が搭乗。うち同行の高校関係者を含む四十九人が待機している。



8日夜、3人の日本人男性が搬送された成田赤十字病院。千葉県成田市

詳細は夕刊で